



活力ある相生市へ

相生市と損害保険ジャパン株式会社は、地域創生の推進に向けた包括連携協定を締結しました。本協定は、両者の知的・人的資源を活かし、連携・協力を強化することで、地域の発展を目指し、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的としています。



7/25



料理で広がる！食の楽しみ

扶桑電通なぎさホールで「男性の料理教室」が開催されました。講師である料理研究家の喜多マリコさんや、主催の消費生活団体スタッフの指導を受け、地場産のお米と野菜を使った中華弁当づくりに挑戦し、地域の食材を通じた交流の輪が広がりました。

こどもフェスティバル

扶桑電通なぎさホールで「こどもフェスティバル neo」が開催されました。会場では、学びと発見がいっぱいの展示・体験コーナーや、食の大切さを学ぶ食育ブース、創造力を刺激するワークショップなどが展開され、多くの家族連れで賑わいました。



8/2



8/5

令和8年度 人権の集い



バレーボールが教えてくれたこと

扶桑電通なぎさホールで人権のつどいが開催され、元女子バレーボール日本代表のおおやま かな さんが講されました。自身の経験を通じた人権の大切さや考え方の違いを受入れる大切さについて、話されました。

8
6・9

平和の尊さ、平和を愛する心

広島と長崎に原子爆弾が投下された時刻に黙とうを行い、原子爆弾による犠牲者を追悼しました。市長、市議会議長とともに、元原爆被爆者の会の方と、非核平和展「非核平和を訴える児童生徒の絵画・ポスター」の最優秀賞・優秀賞の受賞者が「長崎の鐘」を鳴らし、平和を祈念しました。

持続可能なエネルギーの未来へ

新たな廃棄物処理施設となる「相生地域エネルギーセンター」の地鎮祭が執り行われました。公民連携実施協定に基づく「相生地域エネルギーセンター整備運営事業」が本格始動し、脱炭素社会の実現と地域の活性化を目指し、未来へ向けた環境にやさしい新たなまちづくりが動き出します。

8
88
1~16

繰り返さない、原爆の悲惨さ

扶桑電通なぎさホールで非核平和展が行われました。会場には市内小中学校の児童生徒によって描かれた「非核平和を訴える児童生徒の絵画・ポスター」や、被害の様子を写した写真パネルが展示され、訪れた人は一つ一つ静かに見学していました。

なつかしいメロディを奏でて

扶桑電通なぎさホールで、企画展「歌い継ぐあいおいの校歌・園歌、社歌」の記念公演が開催されました。当日はCHUJO MUSIC PLANNINGによる心に響く演奏会が行われ、地域の歴史と記憶が詰まったなつかしいメロディが会場を包み込み、ふるさとの温もりを感じるひとときとなりました。

8
16